

年 組 名前：



ラグビーの練習に励む生徒たち

＝甲府市和戸町

ラグビー 地域クラブ始動

中学部活移行で

甲府市は2026年度から、新たにラグビーの地域クラブの活動をスタートさせた。市内には部活動でラグビーができる学校はなく、ラグビーに触れる機会になるほか、総体など学校関係の大会への出場が可能になる。参加する生徒は「今まで出られなかった大会に出られる」と喜び、ラグビー関係者は競技人口の拡大に期待している。

〈桑原久美子〉

総体出場可能に／競技人口増へ



山本 昂輝
桑原久美子

市教委によると、事前調査で希望者が多く、指導者を確保できたため地域クラブを立ち上げた。5月にスタートし、市内中学校に通う生徒18人が参加。月2回、同市和戸町の山梨学院大和戸ラグビー場で、クラブチーム（Fuji Infantry RFC）と合同練習の形式で活動する。メンバーのほとんどはクラブチームに所属する経験者だが、初心者も募集している。地域クラブとして7月下旬の総体への出場を予定し、練習に励んでいる。参加する甲府南中3年の井上環さんは5歳からラグビーを始め、クラブチームで技術を磨いてきた。学校ではバスケットボール部にはバスケットボール部に所属し、総体に参加経験はあるが、「頑張ってきたラグビーで総体に出られるようになって幸せ」と感謝する。山梨学院中3年の松隈孝志郎さんは「総体を目標に前向きに練習できる。優勝したい」と意気込み、同校3年山本大雅さんは「良い結果を残して、来年に続くようにしたい」と話す。指導する塩沢清志監督は「ラグビーは体が小さくても大きくても自分の長所を生かせるスポーツ。魅力に触れる機会になればいい」と話す。地域クラブに協力する山梨学院大ラグビー部の梶原宏之監督は「競技人口が増え、山梨のラグビーが盛り上がりつつある」と期待する。

市は部活動の地域移行に24年度から段階的に取り組み、25年度までにサッカーなど8種目の地域クラブを展開。アンケートで要望を把握し、26年度はラグビーのほかハンドボールなど5種目を追加し、計14種目で展開する。

(2026年7月9日付 山梨日日新聞 19面)

問1 甲府市は2026年度から、中学校部活動の地域移行で、ラグビーの活動をスタートさせました。参加する生徒には、どのようなメリットがありますか。

.....

問2 ラグビーの地域クラブは、どこで、どのような形式で活動していますか。

・どこで：.....

・どのような：.....

問3 あなたなら、どのような地域クラブがあったら参加してみたいですか。その理由も教えてください。

・クラブ：.....

・理由：.....